



JR東日本一 三会社設立を提案 (1/18)

強制出向にはストライキで反撃も

JR東日本本社は、一月十八日、支社単位で子会社を設立することを提案してきた。

提案内容は、当面、千葉支社、高崎支社、新潟支社に、本年四月に設立するとなっています。

設立目的としては、地方での関連事業を活性化し、支社における積極的な新規事業開発を行うため、支社長を社長とする地方小会社を設立する。

新会社の設立方法としては、JR東日本の一〇〇%出資による株式会社とし、支社単位で設立する。

千葉支社における新会社は、千葉ビジネスサービス(仮称)とし、当面の事業概要は、①不動産物件の情報収集及び調査 JR東日本への仲介 ②高架線駅ビルの管理運営

※家族会より
おしらせ※

家族会は、二月五日午後一時より、千葉市社会センターにおいて第三回家族会総会を開催します。家族のみなさんにお誘い参加下さるようお願いいたします。

③自動販売機の管理運営となっており、将来は、
①不動産開発、高架下開発
②新規事業開発を行うとしていきます。

子会社の事業概要は、
①資本金は五千万円、②役員及び社員数は、本社関係、役員五名、社員六名、
営業所関係、所長二名、社員十一名で総計二十四名で発足する。

強制出向は阻止する

子会社の社員は、全員

JR東日本からの出向社員で構成するとなっており、出向条件は、現在の出向規程にもとづいて行うとしています。

動労千葉は、この間「出向については本人の意志を尊重する」を基本方針に取り組んできた経緯にもとづき、強制出向を許さない闘いに決起していかねばなりません。

すでにJR西日本では、昨年六月に物販、飲食部門の子会社ができ、国労組合員が強制出向へと追いやられている。それを許したのもこそ、鉄道労

連の卒先協力であり、国労西日本本部の出向協定締結という裏切りである。われわれは、強制出向は断じて許さない。動労西日本のたまたかの教訓に学びストライキでたたかおう!

増発・スピードアップ
要員合理化の「八九・三」ダイ改阻止闘争を軸にして一二月総決起一総行動へ!



落解放同盟、茨城放送労組など六〇名が結集し、活気に満ちあふれていた。

まず、冒頭あいさつに辻川委員長は、三年目に入った動労水戸の闘いを総括し、「この間三名の組合員を獲得し、水戸のなかで本物の労働運動を示しぬいてたかかってきた」と自信をもって語り、

「水戸支社三五〇〇名の労働者の先頭に立ち、初心に確信を持って進もう」と決意を訴えた。ちなみに、動労水戸の年頭の決意は「Roaring(猛獣がほえること)です」九〇である。二部のアトラ

Roaring 90 動労水戸が旗開き (1/15)



一月十五日、水戸市民会館で動労水戸団結旗開きが開催された。会場には、辻川委員長が蛇に化身し、竹下をぎりぎりとしめあげる大きな絵が貼られ、動労水戸の力強さを示し、動労水戸の若い組合員を先頭に三里塚反対同盟青行隊、全金本山、分割・民営化反対茨城連絡会、部

3月ダイ改阻止!
スト体制で闘うぞ

クッションでは、バンド演奏、カラオケでもりあがった。動労水戸は今年も元気だ。

スライキ
28 竹野学校
13 じこ
茨城福祉センター
29 三里塚
千葉市集会
12 じ、みほと公園
※11 30 千葉駅
西口改札前集合